

かつやま

6月定例会報告

議会だより

2022.7.28
No.84

審議結果 P 2
委員会報告 P 3
一般質問 P 5



定例会審議結果一覧

★ 議員提出議案
 ■ 表決を行ったもの

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
議案第1号	令和4年度勝山市一般会計補正予算(第2号)	予 算	可 決
議案第2号	令和4年度勝山市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	建 設 産 業	可 決
議案第3号	令和4年度勝山市水道事業会計補正予算(第1号)	建 設 産 業	可 決
議案第4号	損害賠償の額を定めることについて	総務文教厚生	可 決
議案第5号	勝山市介護保険条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第6号	令和3年度勝山市一般会計補正予算(第8号)に関する専決処分の承認を求めることについて	予 算	承 認
議案第7号	令和4年度勝山市一般会計補正予算(第1号)に関する専決処分の承認を求めることについて	予 算	承 認
議案第8号	令和3年度勝山市下水道事業特別会計補正予算(第4号)に関する専決処分の承認を求めることについて	建 設 産 業	承 認
議案第9号	勝山市税条例等の一部改正に関する専決処分の承認を求めることについて	総務文教厚生	承 認
議案第10号	勝山市過疎地域持続的発展計画の策定について	総務文教厚生	可 決
議案第11号	[改定] 勝山市都市計画マスタープランの策定について	建 設 産 業	可 決
議案第12号	勝山市教育委員会委員の任命について	—	同 意
議案第13号	勝山市固定資産評価員の選任について	—	同 意
★議案第14号	勝山市議会議員定数条例の一部改正について	—	可 決
★意見書案第1号	保育所等の最低基準(職員配置・面積基準)と保育士の抜本的な処遇改善を求める意見書について	—	可 決
★意見書案第2号	ケア労働者の賃上げと処遇改善を求める意見書について	—	可 決

◆ 請願・陳情

受理番号	要 旨	付託委員会	議決結果
陳情第1号	「すべてのケア労働者の大幅賃上げを求める意見書」の採択を求める陳情書	総務文教厚生	採 択
陳情第2号	保育所等の最低基準(職員配置・設備の面積基準)と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出を求める陳情書	総務文教厚生	採 択

◆ 表決結果

※意見が分かれた案件については、電子表決システムを使って記名投票を行っています。

議 案 番 号	総投票数	投票数		松本聖司郎	中山光平	安岡孝一	富士根信子	高間清一	久保幸治	竹内和順	吉田清隆	下牧一郎	近藤栄紀	下道恵子	丸山忠男	松山信裕	帰山寿憲	山田安信	乾章俊
		賛成票	反対票																
議案第14号	15	12	3	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長

○=賛成、×=反対、不=不在、議長=議長職(通常は採決に加わらない)

令和3年度政務活動費 各会派の収支状況

令和3年度の政務活動費について、会派ごとの支出状況を報告します。

令和3年度は、議員1人当たり月額3万円、総額576万円の政務活動費が交付されましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限されたこともあり、約226万円が未使用額として市に返還されました。

※0円の会派は、預金利息の発生しない決済用預金口座で管理しています。なお、政務活動費取扱預金利息についても市に返還しています。

	新風会・公明	市 政 会	市民の会	日本共産党
	7名	4名	3名	2名
収入				
政務活動費	2,520,000円	1,440,000円	1,080,000円	720,000円
預金利息※	0円	4円	0円	3円
合 計	2,520,000円	1,440,004円	1,080,000円	720,003円
支出				
調査研究費	0円	0円	0円	2,650円
研 修 費	20,380円	0円	0円	0円
広 報 費	1,061,779円	218,204円	230,024円	339,771円
広 聴 費	0円	0円	0円	0円
要請・陳情活動費	62,180円	0円	0円	0円
会 議 費	0円	1,000円	4,680円	0円
資料作成費	136,352円	115,581円	69,281円	93,691円
資料購入費	579,783円	323,680円	74,400円	163,168円
人 件 費	0円	0円	0円	0円
事 務 所 費	0円	0円	0円	0円
合 計	1,860,474円	658,465円	378,385円	599,280円
政務活動費充当上限額	1,860,474円	658,465円	378,385円	599,280円
残 額(返還額)	659,526円	781,535円	701,615円	120,720円
預金利息返還額	0円	4円	0円	3円

● 総務文教厚生委員会

審査の結果、議案4件について全て可決および承認し、陳情2件を採択としました。

◆ 勝山市介護保険条例の一部改正について

新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少が見込まれる場合等における保険料の減免申請書の提出期限について、令和4年度においても引き続き特例を定めるために、本案が提出されました。

委員からは、申請書提出とあるが、行政から各個人にその旨のお知らせはできないのかとの意見があり、理事者からは減収かどうかの把握ができないため個別告知はできないが、広報等で制度改正をお伝えしたいとの回答がありました。

◆ 勝山市立保育園、幼稚園のあり方検討委員会について

今年度に公立の保育園・幼稚園の今後のあり方を協議する検討委員会を設置するとの説明がありました。

現在、勝山市立保育園は平泉寺保育園と野向保育園の2園、勝山市立幼稚園は成器南幼稚園の1園のみで、入園者数は十数名とのことでした。

委員からは、公立のみの検討委員会ではなく、私立も含めた会議が必要ではないかとの意見があり、理事者からは勝山市子ども・子育て

支援審議会など以前から市内全保育園・幼稚園の園長会議で話し合ってきているとの回答がありました。

◆ 中学校再編準備委員会の進捗等について

これまでに2回の再編準備委員会、その間には各専門部会、ワーキングチーム会議が行われています。各専門部会の審議内容は、最終的に再編準備委員会で報告されて意見交換等が行われており、委員会では第2回再編準備委員会の報告を中心に説明を受けました。

理事者からは、再編準備委員会の冒頭で基本計画にある新中学校を勝山高校の敷地内に建設し、中高連携を進めていくことについて委員から意見を求め、この方針で協議を進めていくことを確認し、現在は中高連携や生徒玄関の位置、共用する特別教棟、部活動、スクールバスなどの協議が行われ、課題の洗い出しなどを進めているとの説明がありました。

委員からは、協議内容や事前の情報公開などによる各団体からの幅広い意見の集約など多くの意見が出されました。今後も協議が行われ、基本計画策定を進めていくとのことでしたので、随時、市議会への報告を求めました。

● 建設産業委員会

審査の結果、議案4件について全て可決および承認しました。

◆ 上下水道料金の請求方法の変更について

現在の上下水道料金2か月分と下水道使用料2か月分を隔月交互に請求する方式を、上下水道料金1か月分を毎月同時に請求する方式に変更したいとの説明がありました。

委員からは、請求方式の変更に関する周知を徹底してほしい、また経過措置については、使用される水量が少ない時期に実施するなど、使用者の負担が大きくなるよう配慮してほしいとの意見が出され、理事者からは再度検討したいとの回答がありました。

◆ [改定]勝山市都市計画マスタープランの策定について

平成15年3月に策定（平成23年3月改定）した勝山市都市計画マスタープランを、第6次勝山市総合計画等との整合を図るためや勝山市の特長を生かし、これまで以上に安全に住み続けられる地域づくりや活力ある持続可能なまちづくりをより効果的・効率的に目指すために改定するものです。

委員からは、無電柱化を組み込めないかとの意見がありましたが、理事者からはかなり負担の大きい事業となるため、今回の計画には組み込んでいないとの回答がありました。

常任委員会報告

かつやまっ子応援! 6万円を支給

コロナ禍において物価高騰に直面する子育て世帯の学校給食費、お弁当、材料代などの負担を軽減したい。また、若い学生が安心して学業に取り組み、継続して修学できるよう1人当たり6万円を支給したいとの説明がありました。

委員: 子どもに手厚く給付支援するのはこれまでも数回あり大切な事業だが、年金支給が減額になっている中、子どもを見守っている高齢者にも今後支援をしてほしい。

理事者: 1世帯当たり4,000円と世帯人数1人当たり1,000円の燃料購入チケットを配布するが、今後考えていきたい。

バス・タクシー無料利用券 再実施決定!

①令和4年度中に満60才以上になる方や妊産婦、令和3年4月2日以降に出産した方、身体障害者等の手帳をお持ちの方を対象に1人当たり4,000円分を配布したい。(予算は利用予定人数の40%分で1,760万円)

②えちぜん鉄道を利用して訪れた観光客等にタクシーの初乗り運賃無料券を配布したい。(予算580万円)

委員: ①の予算の積算根拠40%はどんな理由からか。今回は来年3月までの利用期間のため、利用人数が増えるのではないか。

理事者: 令和3年度実績の約40%弱を基に算出した。予算を超えて利用があった場合は再度補正をお願いしたい。

委員: ②のタクシー初乗り運賃無料券は、1人に1枚配布するのか。

理事者: 1人でも4人でも1台につき1枚(初乗り580円分)を配布したい。

委員: 使用したタクシー券の市内での波及効果を調査できないか。

理事者: タクシー会社において本券の使用実績は分かるが、波及効果の調査は難しい。

● 予算委員会

令和4年度一般会計補正予算(第2号)6億9,839万2,000円および令和3年度勝山市一般会計補正予算(第8号)に関する専決処分、令和4年度勝山市一般会計補正予算(第1号)に関する専決処分の承認を求めることについて審査を行い、予算案については可決、専決処分については承認することに決しました。

新型コロナウイルス感染症対応地域経済対策関係予算の審査において、「かつやまっ子元気応援臨時給付金給付事業費」、「学生応援臨時特別給付金給付事業費」、「原油価格高騰対策事業費」など家計を直撃する重要予算には、委員から多くの意見が出されました。

法恩寺山有料道路無料化記念イベント

観光PR魅力アップ事業費として、法恩寺山有料道路の無料化を記念し、ドライブシアターや打ち上げ花火を実施するために800万円の補正予算が組まれました。

この有料道路は、10月1日から勝山市の市道となり、これまで県の公社が行ってきた道路の維持管理を勝山市が行うこととなります。2,000万円近い除雪費用に加え、道路維持管理費用の発生も予想されることから、これまでの議会への報告では維持管理費用についての議論も多く交わされました。

今回の補正に関して、委員会では10月1日を記念日とすることの是非や約300万円のドライブシアター(車の中で見る映画)の企画、さらには打ち上げ花火など1日で終わる観光企画として総額800万円の予算は多いのではという意見とともに、ささゆり利用補助券や広告宣伝費などに充てたらどうかとの意見があり、理事者からは検討したいとの回答がありました。

● 議会改革特別委員会

委員会では、勝山市議会議員定数条例の一部を改正※し、2名削減して14名とすることについて再度確認を行いました。

また、タブレットを使用した完全ペーパーレス化を実施するなど本格的な運用に努めていますが、議会活性化のため有効的な活用方法について協議しました。

その他、新型コロナウイルス感染症や大規模な災害等における議会のオンライン参加導入に向けて、先進事例を学習していくことを確認しました。このことについて委員からは、実際に試行を行ってはどうかなどの提案が出されました。

※詳細は議会だより第83号をご覧ください。



クーポンを使ってお菓子を食べよう!

事業名：店舗型和洋菓子店応援クーポン事業補助金

事業目的：新型コロナウイルス感染拡大や原材料価格・物価高騰の影響を受け、厳しい経営状況を強いられている市内の和洋菓子店の利用を促し、地域経済の活性化を図る。

配布方法：500円×2枚クーポン付きの広報プラス版を全戸配布する

使用期間：8月1日～9月30日

対象店舗：市内店舗型和洋菓子店（感染予防推進宣言ステッカーが貼ってある店舗）

事業費：239万4,000円

委員：これまでの応援事業は店舗での飲食が主であったが、今回はテイクアウトが主になる。コロナ禍においてはテイクアウトの方が利用しやすく需要が高いと考えられるが、仮に予算を超えた場合はどのように対処するのか。

理事者：予算を超えた場合は、補正予算で対応したい。

一般質問 議：議員／理：理事者

新風会・公明
竹内和順
議員



○ 公園の利活用について
○ 「にこにこ地域づくり基金」について

その他の質問

- ・中部縦貫自動車道県内全線開通を見据えて
- ・新地方公会計制度について

議 市内の公園を見渡しても子どもたちの遊ぶ姿などを見かけることは少ない。きれいに管理されている公園、そうでない公園といるいる。公園や緑地、広場などの都市空間は、市民の皆さんの生活とまちづくりには欠くことのできないもの。都市公園の管理、利活用について見解を伺う。

理 市は33箇所の都市公園を都市公園法や勝山市都市公園条例などに基づき、市民の活動の場、憩いの場として安全性の確保を目的として維持管理している。年2回、職員が直接目視や触手による遊具等の施設点検を行い、重要度や緊急度を考慮した修繕を行っている。他、点検結果を勝山市公園施設長寿命化計画に反映し、必要に応じて計画を更新している。また、日常の清掃や草刈り等は業務委託や地元区の協力を得て実施している。

近年、特に公園に限定した市民からの意見聴取や調査を行っておらず、詳細な利用状況や評価を把握できていないが、今後必要に応じて市民のニーズや評価などの把握に努め、施策に活かしていきたい。

議 2億5250万円の「にこにこ地域づくり基金」が創設され、市内全7地区の特性を活かし、住民が主体となった地域振興や地域「コミュニティ」活動を活性化させるため、今後10年間に各地区区長会に交付される。

行政評価は「評価すること」が目的ではなく、「評価することを通じて、行政の仕事市民本位に変えていき、より良くしていく」ことを目的としているという考えに則って、今回の事業の行政評価をどのように考えているのか伺う。

理 地域活性化の政策の手法として「にこにこ地域づくり基金」を選択した。この政策に対して「市民にとってどのような効果があったか」、「当初の目的どおりに成果があがっているか」といったことについて評価検証を行うっていくことになる。

この政策をより良いものとするために各地区に課長級・若手の職員2名ずつが担当する地域担当職員制度を導入し、事業のフォローアップを行いながら、効果的に進むよう努める。



丸山忠男 議員
市政会

○ 勝山市立幼稚園、保育園の存続について
○ 勝山市内の認定こども園経営4法人が市議会議長に提出した要望書に対する支援について

その他の質問

- ・14歳以下の子どもの数41年連続減少更新に対する勝山市の対応について
- ・子ども子育て日本一について
- ・勝山弁天桜の存続について

議 勝山市内には現在、勝山市立幼稚園、保育園として成器南幼稚園、平泉寺保育園、野向保育園の3園が存在するが、いずれも少子化などの影響で近年、定員割れが続いている現状と聞いている。

今後、勝山市は公営の園の廃止か存続かを検討委員会を立ち上げて協議するとしているが、市の見解を伺う。

また、私立の認定こども園経営4法人が昨年の12月議会において市議会議長に対して、園の統合の問題やこれからのいわゆる子育て支援日本一の具体像の再検討と明示、そのための検討の場の設置を求めるといった項目からなる要望書を提出している。

市長並びに担当課の見解を伺う。

勝山市では「子育て支援日本一」を目指して各施策に取り組んでいるが、令和3年度の出生者数は107人と過去最低を記録し、今年度も低迷を続けている。

勝山市が持続可能な自治体として存続するためには、少子化による出生数の激減や年少人口の減少を前提とした人口減少対応策をしっかりと進

める必要がある。

勝山市内の南部地域、中部地域で施設を運営する認定こども園経営4法人6施設が市議会議長と市長に提出された要望書の内容確認と現状把握のため、4法人の理事長や園長、市長を交えた聞き取りを実施した他、北部地域の3つの認定こども園、保育園の園長や社会福祉法人の理事長とも意見交換会を行い、地域ごとの状況も確認した。

今年度設置する公立保育園、公立幼稚園のあり方検討委員会は、こうした出生数の減少による子どもたちの集団保育、集団教育への影響や社会福祉法人の切実な経営状況を踏まえて開催するもので、勝山市の幼児教育や保育事業への望ましい関与の方法についても審議するとともに、ご意見をいただき、早期に方向性を定めていく。



久保幸治 議員
日本共産党

○ 勝山市立中学校再編計画について
○ 国民健康保険税について

その他の質問

- ・水道事業について
- ・大規模店舗について

議 公民(市民・公僕(公務員市役所職員)・公選人市民の代表として選ばれた議員で構成される勝山市という共同体だが、公僕(公務員は「広く公衆、公共に奉仕する者」のことであり、議員は「市民の共通利益を代弁するため」とある。

これらのことを見れば、今回の中学校再編計画の主旨・主眼は、公民たる市民であることが分かる。

なぜ中学校再編計画案の時点(令和4年3月)で提出された市民4236人の陳情がこの政策に反映されなかったのか、結果的に市民の声が生かされなかったのか、説明を求めます。

今回の陳情は市議会議長に提出されたもので、その採択は市議会の判断に委ねられ、教育委員会はその結果を粛々と受けとめている。

また、教育委員会は執行機関として議会が決定した案件を実際に仕事として実行する立場であり、中学校再編関連の令和4年度当初予算案が3月定例会で可決されており、現在の状況は妥当であると判断している。

議 厚生労働省でも問題になっている国保だが、デフレ、コロナ、物価高騰の現状を考えれば国保加入者の税の負担軽減は早急に必要で、次のことを提案したい。

・国保の積立基金(35億円)を取り崩し、加入者1人当たり均等5000円を2年間、または1世帯当たり1万円を減額する。

・国保制度の子ども均等割の廃止を県や国に要望する。

そもそも、生まれたすぐの子どもや学生から税金を取るなどあり得ない。市の見解を伺う。

平成30年度の制度改正後、勝山市では繰越金を活用して負担増加の抑制を行い、基金の取り崩しを行わなかったが、今年度は基金を取り崩して加入者の負担軽減を図る必要があると考えている。

子どもの均等割については、国民健康保険制度上の課題であり、市町村ごとの対応ではなく、国の責任で新たな軽減制度の創設や財政的支援を講じることが望ましい。

新風会・公明
安岡孝一
議員



○ 地方創生臨時交付金（コロナ禍における原油価格・物価高騰
対応分）の活用について
○ 子宮頸がんワクチンの任意接種費用の払い戻しについて

その他の質問

- ・勝山市立中学校再編計画の今後について
- ・マイナンバーカードの普及について
- ・リトルベビーハンドブックについて

議 4月26日に政府が決定し発表された総合緊急対策において、公明党の強い要請に対して地方創生臨時交付金が拡充され、1兆円の「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」という新たな枠が盛り込まれた。昨今の原油価格・物価高騰やロシアのウクライナ侵略による世界経済の不安定化に不安が追い打ちをかける中、住民の暮らしや事業者を守る手だてとして積極的な活用をお願いしたい。

理 6月補正予算案では、国の補正で措置された地方創生臨時交付金の留保分や原油価格・物価高騰対応分などに加え、前年度決算剰余金を活用して総額3億6342万9000円の勝山市独自の地域経済対策を計上している。

主な内容は、18歳以下全員や大学生等に一人当たり6万円を給付するほか、全世帯に一世帯当たり4000円と世帯人数一人当たり1000円の燃料購入チケットを配布する（住民税非課税世帯は単価が2倍）。また、運送・交通事業者への支援として昨年1年間の燃料使用量に同じ10当たり5円の支援金を交付して事業継続の下支えを行う。

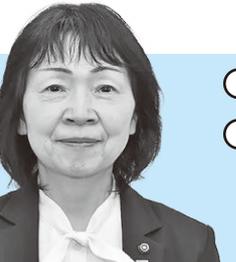
議 子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルスHPV感染を防ぐHPVワクチン接種を個別に呼び掛ける積極的勧奨が今年4月から約9年ぶりに再開された。

子宮頸がん対策について、公明党は女性の命と健康を守るため一貫して取り組み、2013年度には定期接種が実現し、今回のキャッチアップ接種も公平な接種機会を確保する観点から確実な実施を求めている。

理 積極的勧奨が行われていない間に自費でワクチン接種を受けた方の費用の払い戻しが問題であり、他の自治体では実施が広がっている中、当市でも払い戻しを実施すべきと考え、市の所見を伺う。

議 本年4月の予防接種法施行令の改正で、平成25年6月からの積極的勧奨の差し控えで接種機会を逃した方への子宮頸がん予防ワクチンのキャッチアップ接種が可能となった。今定例会で予算が承認されればキャッチアップ対象者で令和4年3月31日まで自費で子宮頸がんワクチンを接種した方に接種費用の償還払いをする予定である。

市政会
下道恵子
議員



○ 高齢者等バス・タクシー利用促進事業について
○ 農薬散布用ドローン教習への補助について

その他の質問

- ・市内バス停にベンチを設置について
- ・勝山で「恐竜レース」を
- ・通知表について

議 令和3年度の新型コロナウイルス感染症対応・地域経済対策事業の1つとして、高齢者等バス・タクシー利用促進事業があった。この事業を再企画するそうだが、前回の実績はどうだったのか。

また、勝山市内から市外への移動も可能かどうか市の考えを伺う。

理 バス・タクシー利用券の利用実績は、3591万2000円分を配布したところ1384万8000円の利用があった。利用率は4割弱となったが、高齢者等の外出支援や交通事業者の減収に対する支援に効果があったこと、市民から再実施や使用期間延長の要望が多かったことを踏まえ、6月補正予算案に事業費を計上した。

なお、今回の制度においては、乗降場所のいずれかが勝山市内であれば対象とするところから、ご質問の市外への通院等への使用についても可能となる。

議 集落営農組織などへの補助事業の1つに農薬散布用ドローンの導入に対して50%補助がある。操縦技能証明書を取得する教習費用も高額で自前となる。高齢化してきた農業には農薬散布用ドローンは将来的に必要な農業機械と考えるが、その教習に補助金を出すことについて市の考えを伺う。

理 農業分野では、担い手の減少・高齢化の進行等により労働力不足が深刻で、農林水産省ではロボットやAIなど先端技術を活用するスマート農業を推奨し、その実証事例の中では農薬散布用ドローンも紹介されている。

ドローンの導入には相当の初期費用や維持管理経費が必要となるが、大型トラクターなどもそれぞれに資格免許の取得維持や機械のメンテナンス費用など多額の経費がかかる。

農業者の支援については、どの部分にどのような支援が必要か全体のバランスや受益者負担も勘案し、農業者の意見も踏まえながら支援の必要性や方法について研究していく。

○ 子供を安心して育てられる市政について

新風会・公明
下牧 一郎
議員



議 認定こども園には1号、2号、3号の保育認定があり、1号認定は預けられる時間が一般的には8時30分から14時30分までの6時間程度なのに対して2・3号認定は預けられる時間が、原則、11時間以内となっている。

理 当市は共働きの家庭が60%以上あり、必然的に2・3号認定の子どもが多くなっている。認定こども園全体としては充足率が100%を超えておらず、保育スペースも保育士の人数も十分に足りていないが、たまたま2・3号認定の充足率が100%を超えている認定こども園に、近くに住んでいる市民が0歳児を夏から入園させてほしいとの要望を出した場合の当市としての考え方(認可の可否判断の考え方を問う)。

理 出生数等による未就学児童の人口推移や施設の利用状況等により、将来的な展望に立って作成された「第2期勝山市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、保育の必要性がある子どもの見込み量に対し定員設定・見直しを適正に行っている。

教育保育事業を提供する区域は勝山市全体を1区域として設定し、居住地や勤務地近くの施設を自由に選ぶことができる。

勝山市全体で認定こども園・保育園の2・3号の総定員は715名だが、6月1日現在の在籍数は633名、充足率88.5%で待機児童はいない。(園によっては100%に達している場合もある)

園において各認定こども園・保育園における定員の遵守が定められており、保育事業の健全な運営を図るためにも定員超えの入園は適当ではないと考えるが、兄弟や姉妹の下の子の入園については、保護者の子育て負担を考慮して柔軟な受け入れをしている。

第1希望の園が定員を超えて入園できずに第2希望の園に入園した場合、保護者の状況を聞きながら最大限に配慮し、翌年4月には優先的に希望の園に転園できるようにしている。

できるだけ保護者の希望に沿うように対応していく。

○ 市道の道路整備計画について ○ ごみ処理施設のビュークリーンおくえつについて

市民の会
高間 清一
議員



議 現市道の道路整備計画について、

①市道の総延長はどれくらいか。

②直近3年間の舗装実績はどうか。

③市道全体の総合的な整備計画はどうか。

理 ①現時点で44.6km。
②令和元年度は21路線で2.1km、令和2年度は27路線で2.3km、令和3年度は32路線で3.0km。
③該当するような総合的な整備計画はないが、舗装やトンネル等の個別施設計画や橋梁の長寿命化計画など、施設ごとに計画を策定している。

舗装の個別施設計画は、主な幹線道路である1、2級の市道82.6kmを対象とし、平成30年度の路面性状基礎調査結果を基に作成している。

集落内の生活道路など1、2級以外の市道は、地区要望や職員の道路パトロールを基に舗装の状況を確認し、優先順位をつけて対応している。特に緊急性のあるものは、職員が直ちに対応している。

議 大野、勝山のごみ処理を一手に担い、市民生活の利便性を向上させているが、

①この施設の起債償還年数はどうか。

②こういった施設には、耐用年数の問題がついてまわりますが、長寿命化を果たすためには10年から15年ごとに大規模な改良事業が望まれていることから、今後の大規模改良事業を考えているか。

理 ①平成18年6月に竣工したごみ処理施設「ビュークリーンおくえつ」建設のための起債額は48億6690万円で、ピーク時には元金と利息を合わせて年間4億5000万円余りを償還し、令和2年度に終了した。

②ビュークリーンおくえつは、竣工からまもなく16年が経過し、劣化や経年的な機能低下が予測されるため、設備の現状や補修履歴等を把握したうえで効率的な基幹的設備改良工事を行う予定である。

令和4年度は長寿命化総合計画を策定し、同計画に基づき性能条件を設定する発注仕様書等を作成し、令和5年度から改良工事を行う計画である。

近藤栄紀
市議会議員



○ 18歳で社会人としてがんばっている若者への支援について

その他の質問

- ・ここにこ地域づくり交付金事業について
- ・観光看板と標識について
- ・新型コロナワクチン接種について



議 6月補正予算案では、新型コロナウイルス感染症拡大、物価高騰などの影響を受けた経済・地域振興対策として「かつやまっ子元気応援臨時給付金」18歳以下の子ども1人当たり6万円を給付、「学生応援臨時特別給付金」大学生等に1人当たり6万円を給付、その他にも様々な市民の生活支援策を盛り込んでいる。

理 今年度は、コロナ禍において同時進行する原油価格・物価高騰に直面する収入のないうちに対する市独自の支援策の一つとして、令和2年度に実施した「かつやまっ子元気応援臨時給付金」の対象を満18歳以下の子どもがいる子育て世代まで拡大し、給食費等への補填も視野に6万円を支援するものである。

また、新型コロナウイルスの影響でアルバイト等の減少などが想定される18歳以上の大学生等の学業継続を支援するため、「学生応援臨時特別給付金」として同じく6万円の給付金を支給したい。

議員ご提案のとおり、原油価格・物価高騰は学生等に限りず全ての方の生活に影響があるが、18歳の方も含め若い方は経済的自立ができていくとの判断から、「かつやまっ子元気応援臨時給付金」、「学生応援臨時特別給付金」は満18歳以下の子どもを持つ世帯や大学生等を対象に集中して支援していきたい。

松山信裕
新風会・公明
市議会議員



○ 勝山市地方創生総合戦略について ○ 関係人口について

その他の質問

- ・シティプロモーションについて
- ・フィルムコミッションについて

議 平成27年度を初年度とする5か年計画で勝山市地方創生総合戦略が策定された。

①第1期地方創生総合戦略および地方創生交付金事業において数値目標を定めており、重要戦略に係るKPIと重要業績評価指標・KPIの進捗状況と達成状況はどうか。

②勝山市の現状の課題、問題をどのように受け止めて重要業績評価指標・KPIなど第2期総合戦略に活かしていくのか。

理 ①第1期総合戦略のKPIの達成状況については、21項目のうち観光入込客数や観光消費額など観光関連のKPIなど9項目が未達成。

地方創生推進交付金事業のKPIについては、28項目のうち20項目が未達成。市が取り組んできた交付金事業のほとんどが観光関連の事業であったことから、これも新型コロナウイルス感染症拡大の影響が主な要因となっている。

②第2期総合戦略では、現在の定住人口の減少や観光客数の伸び悩みを踏まえ、アフターコロナを見据えた新たな視点での戦略を進めていく必要があると考えている。

議 関係人口とは、移住した定住人口ではなく観光に由来する交流人口でもない、地域や地域の人々と多様にかかわる人々のことを指す。

①勝山市として、関係人口に対する見解についてどのように考えているのか。

②目的に応じた関わり方ができるような地域と関係人口のマッチングに取り組むため、受け入れ態勢をどのように進めていくのか。

理 ①関係人口の創出は、人口減少による労働力不足や地域産業の後継者不足等の課題に対し、地域外人材の知見やスキルを借りることで解決の糸口となり、地域の活性化に結び付けることができると考えている。

②高速交通網の整備進展により、市民と市外県外の人々との交流等が期待される。ワークショップの誘致等で都市人材との接点を増やし、市民や事業者、行政等が連携して関係人口を受け入れる体制を整えていく。

また、まちづくり会館職員等を中心として、機会を捉え、地域の取り組みと関係人口とのマッチングを進めていく。

新風会・公明
松本聖司郎
議員



○ キッチンカーと観光について ○ 転入者等に向けた空き家の利活用の取り組みについて

議 GW中にかつやま恐竜の森の広場で行われた「恐竜キッチンカーまつり」では、まちなか誘客の面で足りなさを感じた。

理 キッチンカーや市内飲食店から相互協力の意思を聞いているが、観光の産業化を目指す勝山市として現在の状況をどう把握し、今後どうしていくのか伺う。

議 新型コロナウイルスにより事業拡大や事業転換の支援として実施したキッチンカーの存在が、市民に認識され、浸透してきていると感じている。

理 キッチンカーは、イベント会場のほかに市内の各観光地にも出店しており、キッチンカーを巡り、市内観光地も周遊するなど新しい楽しみ方の提案も行っていくとともに、毎月のキッチンカー出店情報を広く周知していく。

議 道の駅にてキッチンカー店主と協力し、早速、関係人口を増やせた事例があった。これを機に今後も増やしていきたい。

議 現在、勝山市に転入してきた、または転入を考えている方と話をしている。独自調べによると、共通の問題視に上げる項目がネット環境が一位、次いで家屋、収入、雪の順であった。「ネット環境を整えた空き家の改築の必要性」と恐竜学部発足時の学生も対象となる「単身者の賃貸物件の増」が必要だと感じるが、市の見解を伺う。

理 空き家情報バンクの利用促進を図るため、インターネット環境が整った物件や地租的条件に合う物件などの登録物件を充実させていく。

議 また、空き家のリフォーム補助などを行い、シェアハウスも含め学生や単身者などが利用しやすい賃貸物件が増えるような施策を検討していく。

理 今後も空き家を地域の資源として活用促進の支援をしていく。

議 せっかく良い施策をしていてもPR人口が足らな過ぎる。根幹の人口減少問題解決のためにも、市外への発信強化への協力を願う。

新風会・公明
吉田清隆
議員



○ 防災部署の女性配置について ○ 小中学生のうつ状況について

その他の質問

- ・災害時の安否不明者の公表について
- ・家庭用ごみ袋について
- ・教師不足について

議 内閣府が都道府県と全国の市区町村を対象に女性の防災部署の配置を調査したところ、61.9%の市町村で防災・危機管理部に配属されている女性職員が0で、避難所運営や備蓄用品に女性の視点が見えにくい現状が浮かび上がった。その原因として、休日の緊急対応や災害時の長時間勤務等、自治体が男性の配属を優先し、女性がほとんどいない職場で定着が困難であると推測している。

理 勝山市の現状と今後の対応を伺う。

議 県内17市町では、勝山市を含む7市町で防災部署に女性職員が配置されておらず、全体の総配置職員数に占める女性職員数の割合は14%となっている。夜間の緊急対応や泊まり込みが必要となるため、子育てや家庭での負担の大きい女性に対する配慮が、結果的に女性職員の配置ができていない理由である。

理 一方、避難所管理責任者や運営担当職員には、原則、女性職員を1名以上配置し、災害時に極力ストレスなく避難できる環境を作れるよう運営体制を確保している。

議 国立成育医療研究センターが新型コロナウイルスが子どもの生活や健康に与える影響について調査したところ、小学校高学年から中学生の1〜2割にうつ症状が見られた。重症度の高いうつ症状を示す児童・生徒ほど「すぐに誰かに相談する」と回答した割合が低く、「誰にも相談しないで様子を見る」と回答した割合が高く、家庭内で抱え込む傾向も浮き彫りになり、担当者は「正しく理解し、SOSを出してほしい」と呼び掛けている。

理 市内小中学校において、うつ症状とみられる児童・生徒は確認されているのか。

議 現在、勝山市において、うつ症状であるとみられる児童生徒の報告は受けていない。

理 学校では、日頃から健康観察や授業を通して児童生徒の表情や様子を観察し、先生同士での情報共有のほか、定期的に個人面談を行ったり保護者から家庭の様子を聞いたりして実態把握に努めている。支援が必要な児童には、担任やスクールカウンセラー、保護者等とチームとして様々な対応をしている。

○ 中学校を勝山高校の敷地内に建設する計画の問題点と対応について

その他の質問
・参議院選挙の争点と、地方自治体への影響について



山田安信 議員
日本共産党

議 ①中学校を勝山の敷地に建設する「ねらい」の特徴は「勝高を存続させる」ことだが、油谷教育長も同じ認識か。
②義務教育全ての中学校にとって「高校との同居型連携」がどうしても必要な教育環境なのか。
③県教委は小規模高校の存続を決めたが、その条件は「中学校との同居型連携」なのか。
④前教育長は、遠距離通学が小学校では人口流出の要因になるが、中学校では問題ないと答弁したが、油谷教育長も同じ考えか。
⑤小中高の先生とPTA代表などで構成する準備会が「勝高敷地内に建設することの是非の判断」ができるのか。準備委員に「住民の合意を得る」ことを担わせるのは無茶ではないか。
⑥中学校の統廃合は地域によって意見が違つことも起りうる。地域同意が得られない中学校区の意見を無視して強行するののか。

理 ①中学校の統合にあつたて、地元の勝山高校と連携した教育を進めることが、中学生に求められる資質能力の育成など大きな教育効果を得ら

れると考えている。中高連携の効果として勝山高校への進学率が向上することは期待できるが、これを最優先事項とは考えていない。
②中学校の設置や地元高校との連携のあり方は、各地域の様々な実態を踏まえて判断されるものと考えている。
③ご指摘のことを条件とはしていない。
④中高連携によって入学して学びたいと考えてもらえるよう魅力的なカリキュラムなど編成し、ご理解いただけるよう努めたい。
⑤再編準備委員会設置は条例等議会で認めていただいた。保護者代表からは事前に聞いてきた保護者の意見が述べられ、持ち帰つて役員会などで意見を聞きたいなどの発言があつた。当委員会での協議結果は市議会や市民にお示しし、判断いただきたい。
⑥再編準備委員会や専門部会では、様々な課題を踏まえて協議を進めている。新中学校の教育内容や教育環境等について、校区別の説明会等で説明し、意見を伺つとともに計画の推進にご理解いただけるよう努めていきたい。

○ 新型コロナ対応についての確認と指摘

その他の質問
・勝山市立中学校再編計画について



中山光平 議員
市民の会

理 国の新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボードについては、厚生労働省が作成、公表している資料

であり、その内容について市で答えることはできない。また、接種券送付時に国が示した「新型コロナ予防接種についての説明書」を送付し、若い方、特に男性に心筋炎や心膜炎が起ることがあることを周知している。説明書には、ワクチンの効果と投与方法、注意点、副反応等について記載しており、それ以上の詳細な内容は、厚生労働省のホームページをご覧いただくよう案内している。添付文書の改訂についても詳細な内容と思われる。ホームページでご確認いただきたい。ワクチン接種には様々な意見や情報があるが、市民が安心して接種できるよう市として情報提供していく。

議 ①厚生労働省HP、新型コロナウィルス感染症対策アドバイザーボードの「ワクチン接種歴別の新規陽性者数」では、ワクチン接種歴「未記入者」数を「未接種者」数に加算し、本来はほとんどの年代で低い感染率の未接種者が高い感染率に見せていた件（専門家からの指摘を受けて5月11日以降は未記入者を接種歴不明に再分類された）
②厚生労働省が作成したパンフレット「新型コロナワクチン接種後の心筋炎、心膜炎について」に記載されている文言と数字が間違つていて、あたかもワクチン接種者の方が心筋炎、心膜炎のリスクが低いようにみせていた比較グラフの件。（現在もHP等で全国的に使用されている）
③新型コロナワクチン添付文書が改訂されても周知されない件。
①③は、市民が自身の安心安全を守るために必要な判断材料であるが、市はどのように考えるか。
私は「厚生労働省HPの情報が改ざんや間違いがあつたことが発覚している。」と指摘している。また、「各HPを確認してほしい」というが、高齢化等のこともあり、苦手な方が多いことは認識しているはず。だからこそ、紙面での情報周知が重要であると再三指摘している。小さい市だからこそ市民に寄り添える市政であってほしい。



越前大仏 世界へ!?

世界で一番審査が厳しいとされる写真投稿サイト「1x」に、越前大仏をバックにした写真が最高位のAwardedを受賞した。全世界から投稿される写真の1%に満たぬ作品に与えられる賞であり、証明書も発行される。撮影者の末政光昭さん、miyuさんは写真家とモデルのご夫婦で活動をされており、越前大仏を含んで投稿した写真の7枚中3枚がAwardedを受賞。この写真を見て当地を訪れる写真好きの観光客も増えてきており、注目が集まっている。10月23日(日)開催の大仏イベントでも担当カメラマンとしての参加が決まっており、越前大仏、勝山市を世界に発信していく足掛かりとなることが期待される。



撮影者 Hyperstudio 末政光昭、miyu

(松本 聖司郎 記)

議会日誌

4月28日(木) 総務文教厚生委員会、建設産業委員会、全員協議会	18日(土) 福井県消防操法大会激励会、勝山市防犯隊総会
5月15日(日) 福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会(越前市)	20日(月) 議会改革特別委員会、議会運営委員会、議会広報特別委員会
24日(火) 北陸新幹線建設促進大会・北陸新幹線建設促進同盟会総会(東京都)	23日(木) 総務文教厚生委員会、議会運営委員会、全員協議会、建設産業委員会、本会議
25日(水) 全国市議会議長会定期総会(東京都)	25日(土) かつやまこども恐竜LABO結成式
26日(木) 全国市議会議員共済会代議員会(東京都)	7月 1日(金) 消防ポンプ操法訓練激励
27日(金) 全員協議会	6日(水) 勝山市交通対策協議会、社会を明るくする運動式典
29日(日) 中部縦貫自動車道大野油坂道路整備促進大会(大野市)	7日(木) 滋賀県東近江市行政視察受入(会派)、全国高速自動車道市議会協議会(福島県～8日)
30日(月) 勝山市水防協議会	11日(月) 議会広報特別委員会
6月 7日(火) 本会議、全員協議会	12日(火) 夏の交通安全県民運動市内巡回
12日(日) 勝山恐竜クロカンマラソン	15日(金) 議会広報特別委員会
13日(月) 本会議(一般質問)、議会運営委員会	16日(土) 「勝山自然塾」オープニングセレモニー
14日(火) 本会議(一般質問)、議会広報特別委員会	23日(土) 勝山市戦没者追悼式
15日(水) 総務文教厚生委員会	27日(水) 勝山市表彰審査委員会
16日(木) 建設産業委員会	
17日(金) 予算委員会	

編集後記

胡瓜・茄子・ジャガイモなどの新鮮な地野菜が、恐竜渓谷かつやま道の駅や各地区の農産物直売所に並んでいます。田んぼには稲が青い空に向かってシャンと背を伸ばし、来たる収穫の時期を待っているようです。

さて、市のいろいろな行事やイベントもコロナ感染対策をするのが条件で行われるようになり、先日は恐竜クロカンマラソンが4年ぶりに開催されました。ご家族連れも多く、楽しそうに走る姿や子どもたちの弾けた声を聞いていると、これが普通で当たり前の幸せだったんだと改めて感じているこの頃です。これから益々暑くなりますので、農作業や外での行事には帽子・飲み物携帯など熱中症対策を充分にしてお出かけください。(下道 恵子 記)

《議会広報特別委員会》

委員長 下道 恵子 副委員長 松本 聖司郎 中山 光平 富士根 信子 久保 幸治

発行：勝山市議会 〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1-1 TEL 0779-88-8100(直通)

編集：議会広報特別委員会 <URLアドレス> <http://www.city.katsuyama.fukui.jp/>

<Eメールアドレス> gikai@city.katsuyama.lg.jp



議会中継動画



Facebook